

声優募集要項（ニュースナレーション）

客観・中立トーン系 / 多言語音声クローニング収録プロジェクト 日本語版

1. 案件概要

多言語音声クローニング用の音声収録プロジェクトです。1つの音色（ボイスプロファイル）につき、1〜3分程度の完成音声データを収録します。

- 対象：日本語ネイティブスピーカー。性別は問いません。
- プロの声優を優先しますが、ジャンルによっては演技経験のない一般の方でも応募可能です（詳細は各音色の説明をご確認ください）。
- お一人で複数の音色に応募いただけます。応募する音色ごとに、指定された全文を収録してください。
- 採用された音色の数に応じて報酬をお支払いします。
- 評価の高い方には、今後より長時間（時間単位）の収録案件をご紹介します可能性があります。

2. 必須条件（絶対厳守）

台本はあくまで参考です。実際の収録では、適度にセリフの言い回しを変えたり、より自然な表現を加えたりして構いません。

- 収録の冒頭に自己紹介は不要です。すぐにシーンの演技・語りに入ってください。
- 複数のシーンに応募する場合は、シーンごとに別の音声ファイルを提出してください。
- 同一シーン内で複数のトピック（音色プロファイル）を収録する場合は、トピックとトピックの間に5秒以上の無音を入れてください。
- 各パラグラフ（段落）の間にも5秒以上の無音を入れてください。

3. 収録環境・フォーマット要件

- 完全に静かな環境で収録してください。BGMなし、リバーブ（残響）なし。
- フォーマット：48kHz／24bit／モノラル／.wav
- 暗騒音（バックグラウンドノイズ）：−60dB未満
- 一次選考（オーディション）は、スマートフォンでの録音でも構いません。ただし選考通過後の本収録は、レコーディングスタジオまたはホームスタジオでの収録が必要です（こちら側の立ち会いはありません）。

- 可能であれば、オーディション段階から本収録と同じ環境・基準で収録・提出いただくと、選考通過後に再収録の必要がなくなります。

4. 最終納品物

- 採用後、要件を満たした1～3分の音声データ
- 採用された出演者（発音人）ご本人による声の使用許諾

5. 使用許諾について

応募・収録の前に、下記の許諾条件をご了承いただける方のみご参加ください。

- 採用された音声は商用・AI学習用に使用されます
- 許諾使用期間：
 - ・ AI学習（音声クローニングモデルの学習）における利用：3年間（更新可能）
 - ・ AI学習を通じて生成された音声成果物の商業利用：無期限
- 商業利用許諾使用範囲：全世界
- 採用された出演者ご本人による音声利用許諾をしていただきます。

6. ファイル命名規則

言語_シーン_音色名称_口調（標準語／方言等）_性別_年齢層_氏名.拡張子

例：JP_カスタマーサービス_営業カスタマーサービス_標準語_女性_青年_takahashi.wav

7. 募集シーン詳細

7.1 ニュース（台本読み上げ）

以下の台本をもとにニュース原稿として読み上げてください。

自然に読むための軽微な言い回しの調整は可能です。感情を込めすぎず、客観的で安定したトーンを保ってください。

1. マルチメディアニュースキャスター

人物設定：落ち着きがあり客観的で信頼できるマルチメディア系ニュースキャスター。

伝統的なアナウンサー口調になりすぎず、明瞭に話す。

／ 音色年齢：中青年

台本（不自然なところがあれば直していただいて結構です。読み上げてください）：

こんばんは。本日のトップニュースです。

世界保健機関は年次報告書を正式に発表し、東南アジア各地で衛生インフラが大きく改善していることを強調しました。「2030年ビジョン」と名付けられたこの取り組みは、今年代末までに500万人以上の住民に清潔な水を提供することを目指しています。専門家は、この地域の水系感染症をおよそ40%減らせる可能性があるかとみています。

続いて、資本市場の話題です。インフレ懸念の高まりを受け、本日の米国株式市場は主要3指数がそろって不安定な値動きの末、下落して取引を終えました。ダウ工業株30種平均は1.2%安、450ドル下げて3万8125.50ドルで引けました。個別銘柄では、テクノロジー大手ヴィテックス（銘柄コードVRX）が第2四半期の売上高が市場予想を下回ったことを受け、株価が大幅に下落し、1株あたり14.30ドルの急落となりました。一方で商品市場は逆行高となり、原油先物の中心限月は2.5%上昇し、1バレル84.20ドルで取引を終えました。

最後に、テクノロジーと生活分野の最新ニュースです。アジア太平洋都市発展研究センターは本日、スマート交通の試験導入計画を発表しました。第一弾として12都市で、次世代型の公共交通運行管理システムが導入されます。このシステムは時間帯ごとの乗客数の変化に応じて、バスの運行間隔とルートを動的に調整します。研究センターによると、この試験プロジェクトは200を超えるバス路線を対象とし、朝夕のラッシュ時の混雑、待ち時間の長さ、一部路線での輸送力の偏りといった課題の改善を重点に据えています。プロジェクト開始後、各試験導入都市では乗客からのフィードバック、定時運行率、平均待ち時間などのデータをもとに、システムの運用効果を継続的に評価していく予定です。

2. エンタメニュースキャスター

人物設定：自然で明るく親しみやすく活気のあるエンタメニュースキャスター。

ややテンポの速い話し方で、要点を明確に伝えつつ軽い関心を持たせる語り口。

／ 音色年齢：青年

台本（不自然なところがあれば直していただいて結構です。読み上げてください）：

さて、ここ数日話題になっていたイギリス王室の「消えた王妃」騒動が、ついに大きな展開を迎えました。最新の王室行事で、王妃が3人の子どもたちを連れて姿を現し、パレードに参加しただけでなく、バッキンガム宮殿のバルコニーから国民に向けて手を振る姿も見せました。5人家族が仲睦まじく揃い、温かく和やかな雰囲気の中、王妃が意気揚々と復帰したかのような一幕でした。この映像がネット上で生中継されると、一部のネットユーザーは即座に反応し、これまで根も葉もない噂を広めていた人々を厳しく批判しました。王妃はわずか半年ほど公の場に姿を見せなかっただけなのに、それだけで亡くなったなどというデマを流すのは、あまりに配慮に欠けているのではないかと、という声が上がっています。さらには、王室の人々がそんな下劣な手段を使うはずがないと、擁護に回る人まで

現れました。

最近、『週末パートナーズ』という旅行バラエティ番組が、突如として大きな話題を呼んでいます。放送前、多くの視聴者は出演者リストを見て、いつも通り観光地を巡ってミニゲームをして、最後に無理やり感動的な演出で締めくくる、ありがちな番組だろうと思っていました。ところが実際に放送が始まると、制作陣は出演者たちを気軽にタスクをこなさせるつもりなど全くなく、いきなり見知らぬ小さな街に送り込み、手描きの地図と非常に限られた活動費だけを渡していたことが判明しました。宿探しからルート決め、交通費を節約するために急遽バスに乗り換えるまで、出演者たちはトラブル続きでしたが、それがかえて番組をリアルなものにしていました。

もちろん番組が人気になった後、一部の視聴者からは、このハプニングのいくつかは事前に仕組まれていたのではないかという声も上がっています。バラエティ番組は展開の面白さや見やすさを考える必要がある以上、カメラに映る『自然な反応』のうち、どこまでが本当のやり取りで、どこまでが編集による選択なのかを、視聴者が数場面だけで見極めるのは難しいものです。ただ、これまでの反応を見る限り、視聴者が本当に気に入っているのは、出演者がどれだけハプニングに遭ったかではなく、番組が誰もを型にはめすぎなかった点にあるようです。誰かがいつもと違う一面を見せたとき、視聴者はかえてその人の素の姿を感じ取りやすくなります。この自然な雰囲気今後の放送でも続くかどうかは、今後の内容を見てから判断する必要があるようです。

3. 経済ニュースキャスター

人物設定：落ち着いていて理性的で正確な経済ニュースキャスター。

話すペースは適度で、数字・会社名・結論のメリハリがはっきりしている。

／ 音色年齢：中年

台本（不自然なところがあれば直していただいて結構です。読み上げてください）：

経済ニュースです。遠嵐テクノロジーが最新の四半期業績を発表しました。売上高は前年同期比 8.2%増加した一方、純利益は同 3.1%減少しました。この 2 つの指標は異なる動きを見せており、売上高は前年同期に比べ増加した一方、純利益はわずかに減少しています。純利益減少の理由について、同社は研究開発投資の増加が主な要因であるとしています。以上の情報は、遠嵐テクノロジーの今四半期における前年同期比の経営実績を示すものです。

数値の関係から見ると、売上高の増加が必ずしも純利益の同時増加を意味するわけではありません。企業が経営の過程で研究開発投資を増やす場合、それに伴う支出が一定期間、利益の水準に影響を与える可能性があります。遠嵐テクノロジーは、今四半期の純利益が前年同期比で減少した主な理由として研究開発投資の増加を挙げていますが、現時点で公表されている 3 つの情報だけでは、研究開発資金の具体的な使途、投資期間、今後想定される成果についてこれ以上判断することはできず、同社の長期的な経営動向について踏み

込んだ推測をすることは適切ではありません。

四半期データを読み解く際には、売上の変化、利益の変化、そして企業による理由の説明を、それぞれ分けて捉える必要があり、単一の指標だけで結論を出すことは避けるべきです。遠風テクノロジーの今四半期の売上高は前年同期比 8.2%増、純利益は同 3.1%減となっており、この 2 つの数値は同一の報告期間内のものとして理解する必要があります。研究開発投資の増加に関する同社の説明は、利益変動の主な理由についての説明にすぎません。なお、これらの情報はあくまで仮想の企業の四半期の経営状況を示すためのものであり、市場価格についての判断を示すものではなく、いかなる投資助言にもあたりません。